

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：4月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●5月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、4月の訪日外客総数(推計値)は390万8,900人であった(前年同月比+28.5%)。春の桜シーズンに加え、イースター休暇で訪日旅行需要が高まった影響もあり、過去最高値を更新した。また、同月の出国日本人数は96万1,400人であった(同+8.2%)。なお、2019年同月比では-42.3%と、減少幅は前月(同-26.2%)から大幅拡大しており、アウトバウンド需要の回復ペースは緩慢である。

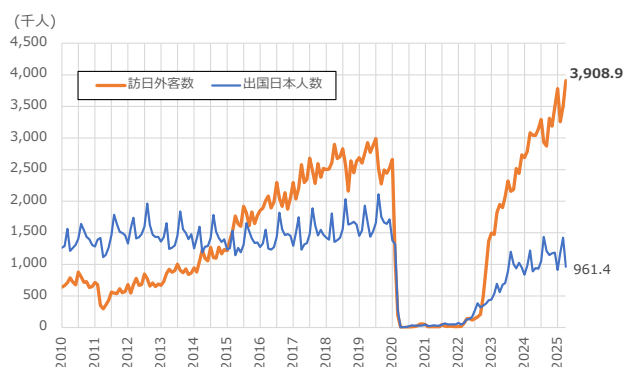
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、4月は中国が76万5,100人(前年同月比+43.4%)と最多であった。次いで韓国が72万1,600人(同+9.1%)、台湾が53万7,600人(同+16.9%)、米国が32万7,500人(同+43.1%)、香港が26万3,600人(同+42.9%)と続く。なお、カナダ、英国、ドイツ、フランス等が単月として過去最高値を更新した。

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、2月は325万8,491人で、2月として過去最高値を更新した(前年同月比+16.9%)。うち、観光客は296万5,065人(同+16.4%)、その他客は19万9,384人(同+27.6%)、商用客は9万4,042人(同+12.2%)であった。

▶大阪・関西万博が開幕してから3カ月が経過し、累計一般来場者数は685万1,429人(6/15日時点)と、順調に増加している。関西自治体は、万博来場者を自府県へ誘客するための施策に取り組んでいる。今回は三重県の事例を取り上げてみよう(前回は鳥取県)。

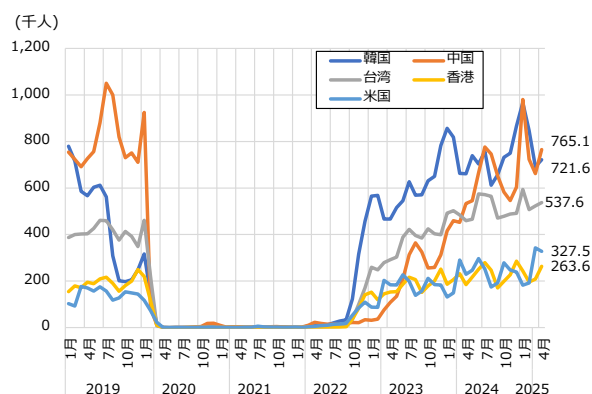
▶三重県では、万博来場者の誘客促進政策の一つとして「みえ旅 三重から未来につなぐ旅」を実施している(詳細は URL を参照 <https://www.kankomie.or.jp/special/mietabi2025/>)。具体的な施策内容としては、(1)交通事業者と連携した万博開催期間中に使用できるデジタルきっぷ、(2)万博期間中に利用できる旅行商品の販売促進である。(1)については、Kansai MaaS アプリ等を活用した周遊パスであり、購入者には数量限定のプレゼントや観光施設で利用できるクーポンが配布される。(2)については、関西圏並びに首都圏から出発する旅行商品であり、万博訪問後の来場者を自県へ誘客するコンテンツとなっている。本旅行商品の特徴は、関西圏のみならず首都圏をも対象としていることである。このようなプログラムを契機に、首都圏からの誘客が促進できれば、より一層万博の波及効果が期待されよう。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



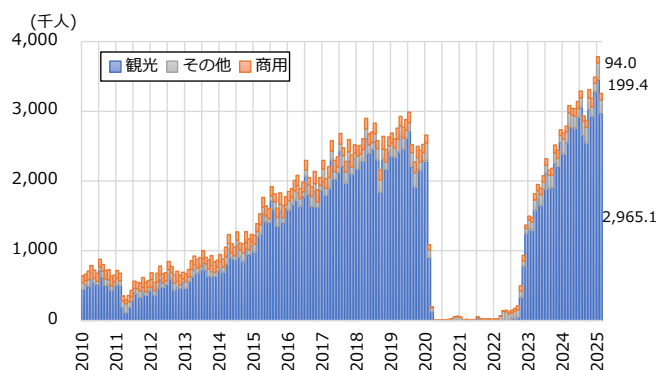
注：2023年まで確定値、24年、25年2月は暫定値、25年3-4月は推計値
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



注：なお、TOP5の国・地域は値を表示している。
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成。

図3 目的別訪日外客数推移



注：目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

●4月関西の財貨・サービス貿易及びサービス産業動向

▶ 関西 4 月の輸出額は前年同月比+6.0%と 7 カ月連続で増加した(前月: 同+4.8%)。また、輸入額は同+7.8%と 2 カ月連続の増加となった(前月: 同+13.1%)。結果、関西の貿易収支は +1,644 億円と 3 カ月連続の黒字だが、黒字幅は同-9.8%と 2 カ月連続で縮小した(前月: 同-18.4%)(図 4)。

▶ 対中貿易動向をみると(図 5)、関西 4 月の対中輸出は前年同月比+3.0%と 2 カ月ぶりに増加した(前月: 同-1.3%)。輸出増に寄与したのはプラスチックや非鉄金属等であった。一方、対中輸入は同+14.8%と 2 カ月連続の増加(前月: 同+16.6%)。輸入増に寄与したのはがん具及び遊戯用具や通信機等であった。

▶ 4月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は99万2,188人となり、過去最高値を更新した(前年同月比+28.4%)。桜の開花時期で訪日旅行需要が高まった影響が表れた。同月の日本人出国者数は17万2,765人であった。前年同月比+9.3%と増加幅は前月(同+20.9%)から縮小し、1桁の伸びにとどまった。なお、2019年同月比では-48.9%となり、アウトバウンド需要の低迷が続く。

▶ 4月のサービス業の活動は一進一退で推移している(図 7)。サービス業の生産活動を示す第 3 次産業活動指数(季節調整済み: 2019-20 年平均=100)をみれば、4月は104.1で前月比+0.3%と 2 カ月ぶりのプラスとなった(前月: 同-1.0%)。また、対面型サービス業指数*は 105.6 で同-1.2%と、6 カ月ぶりのマイナス(前月: 同+0.5%)。うち、運輸業、郵便業(同-3.4%、2 カ月ぶり)や医療、福祉(同-0.4%、2 カ月連続)が低下に寄与した。4 月を 1-3 月平均と比較すると、第 3 次産業活動指数は-0.2%(1-3 月期: 前期比+1.6%)、対面型サービス業指数は-0.9%(1-3 月期: 同+2.2%)、それぞれ低下した。

▶ 観光関連指数**(季節調整済み: 2019-20 年平均=100)は(図 7)、110.6 と前月比-2.0%低下し、2 カ月連続のマイナスとなった(前月: 同-3.5%)。うち、劇場・興行団(同-15.6%、2 カ月連続)や宿泊業、飲食サービス業(同-1.3%、2 カ月連続)が低下に寄与した。4 月の観光関連指数は 1-3 月平均比-3.3%低下した(1-3 月期: 前期比+3.7%)。

*対面型サービス業は、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「学習支援業」及び「医療、福祉」を指す。

**観光関連指数は第 3 次産業活動指数のうち、「旅客運送業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「旅行業」、「映画館」、「劇場・興行団」及び「公園、遊園地・テーマパーク」の各指数の加重平均。

図 4 関西 対世界貿易の推移

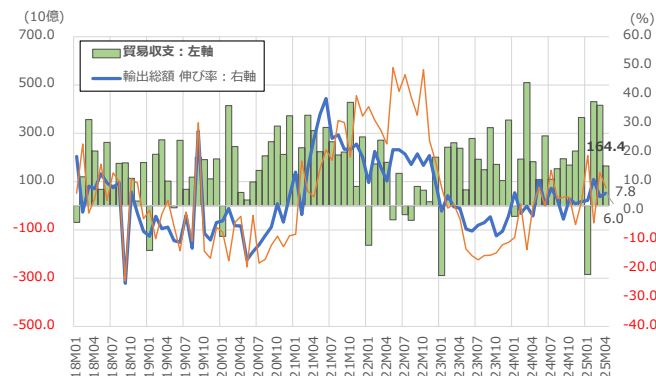
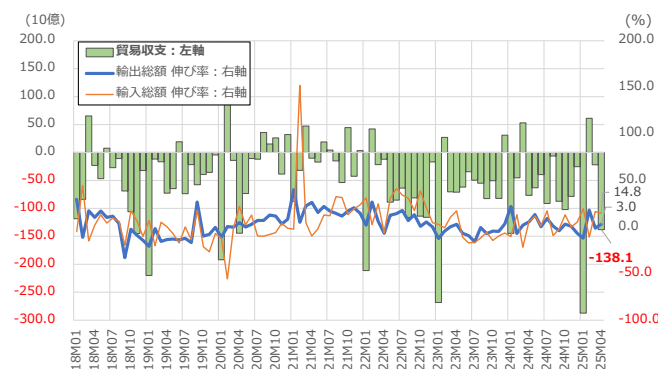
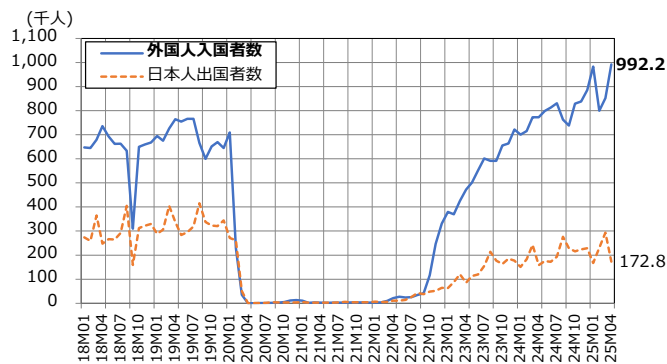


図 5 関西 対中貿易の推移



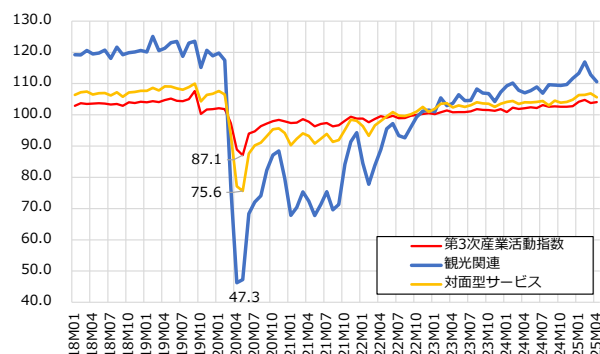
出所:「大阪税関貿易速報資料: 近畿圏」より筆者作成

図 6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所: 出入国管理統計より筆者作成。2025 年 4 月値は速報値

図 7 観光関連 対面型サービス 第 3 次産業: 2019-20 年平均=100



出所: 経済産業省「第 3 次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 2月延べ宿泊者数の動向：関西 2 府 8 県

▶観光庁によれば、2月の関西 2 府 8 県の延べ宿泊者数(全体)は **9,492.4 千人泊**であった(表 1)。前年同月比では**+1.5%**と 2021 年 11 月以降増加が続いているが、増加幅は前月(同+12.1%)から縮小した。

▶日本人延べ宿泊者数は **6,307.2 千人泊**となった。前年同月比**-4.1%**と **3 カ月ぶりに減少**した(前月：同+4.6%)(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,378.1 千人泊、京都府 1,086.2 千人泊、兵庫県 1,019.7 千人泊、三重県 578.9 千人泊、和歌山県 274.0 千人泊、滋賀県 263.1 千人泊、福井県 235.0 千人泊、奈良県 163.5 千人泊、徳島県 162.2 千人泊、鳥取県 146.5 千人泊であった。前年同月比でみると、**京都府**(同-12.5%、21 カ月連続)、**三重県**(同-9.6%、11 カ月ぶり)、**和歌山県**(同-9.0%、2 カ月連続)等の **7 府県が日本人延べ宿泊者の減少に寄与**した。うち、京都府は前月(同-2.0%)から減少幅は拡大し、2 桁の大幅減少となった。

▶外国人延べ宿泊者数は **3,185.2 千人泊**となった(表 1 及び図 9)。前年同月比**+14.6%**と **35 カ月連続で増加**した。増加幅は前月(同+28.8%)から縮小したが、2 カ月連続で 2 桁の伸びとなった。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 1,905.1 千人泊、京都府 1,030.9 千人泊、兵庫県 119.4 千人泊、和歌山県 30.0 千人泊、奈良県 28.2 千人泊、滋賀県 21.8 千人泊、三重県 15.9 千人泊、徳島県 13.0 千人泊、鳥取県 11.0 千人泊、福井県 9.9 千人泊であった。前年同月比をみれば、**大阪府**(同+12.2%、37 カ月連続)、**京都府**(同+19.2%、35 カ月連続)、**兵庫県**(同+13.0%、31 カ月連続)等、**9 府県が外国人延べ宿泊者の増加に寄与**した。

▶なお、宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金：2019 年=100)をみれば、2025 年 4 月は 65.5 となった。前年同月比**-3.2%**と 25 カ月連続の悪化だが、悪化幅は前月(同-4.2%)から小幅縮小した。しかし、依然として宿泊料金の高騰に対して賃金の伸びは緩慢であるため、日本人宿泊者にとって厳しい状況が依然続いている(図 10)。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

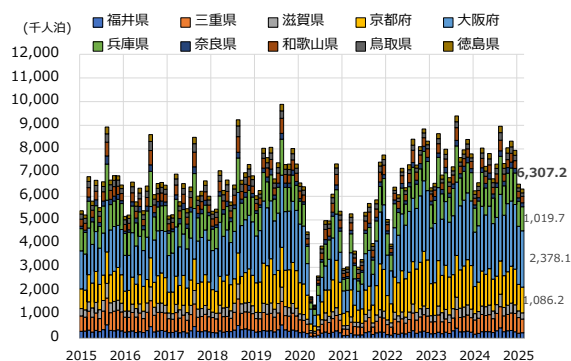


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

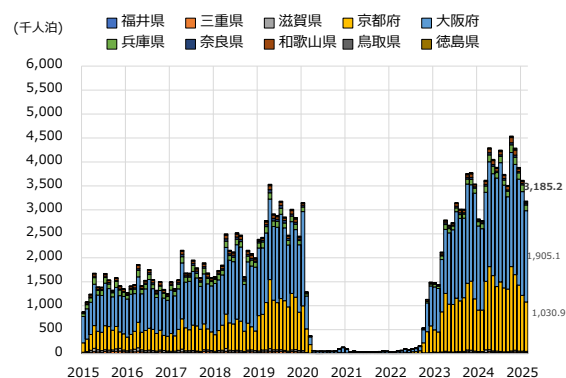
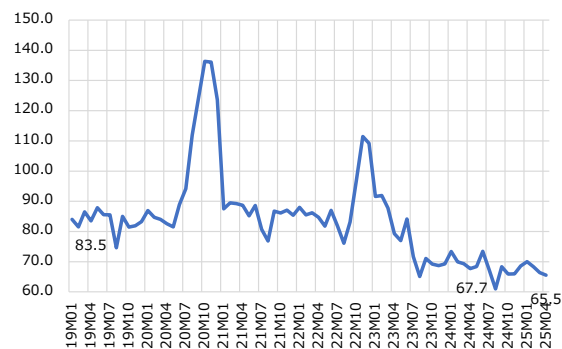


図 10 宿泊料金と賃金との交易条件
(現金給与総額/宿泊料金)



注：宿泊料金(消費者物価)と賃金(現金給与総額)の相対的関係をみている。
2019 年平均を 100。

出所：総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計調査』

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率：2 月

2025年2月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前月(%)
福井県	244.9	13.7	25.4	235.0	11.8	24.2	9.9	92.2	55.1
三重県	594.8	-9.2	11.1	578.9	-9.6	10.6	15.9	6.8	31.8
滋賀県	284.9	-6.7	2.5	263.1	-6.6	2.8	21.8	-7.9	-0.4
京都府	2,117.1	0.6	13.8	1,086.2	-12.5	-2.0	1,030.9	19.2	34.8
大阪府	4,283.2	4.9	13.9	2,378.1	-0.3	6.7	1,905.1	12.2	23.3
兵庫県	1,139.0	-0.8	8.4	1,019.7	-2.2	4.2	119.4	13.0	54.5
奈良県	191.8	16.6	12.4	163.5	13.2	5.9	28.2	41.5	66.0
和歌山県	304.0	-7.5	4.4	274.0	-9.0	-1.0	30.0	9.2	68.2
鳥取県	157.5	-13.5	-3.8	146.5	-15.0	-7.3	11.0	12.1	66.2
徳島県	175.3	5.9	6.1	162.2	3.6	1.3	13.0	47.9	123.4
関西2府4県	8,320.0	2.3	12.3	5,184.6	-3.9	3.6	3,135.4	14.4	28.4
関西2府8県	9,492.4	1.5	12.1	6,307.2	-4.1	4.6	3,185.2	14.6	28.8
全国	47,933.9	0.2	7.1	34,173.8	-5.9	-2.0	13,760.1	19.5	34.8

注：表中の赤枠は寄与度が高い TOP3 を示している。

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図 8~9 及び表 1)より筆者作成

トピックス 3

● 2025 年 1-3 月期国内旅行消費の動向：関西 2 府 8 県*

▶観光庁によれば、**2025 年 1-3 月期関西(2 府 8 県ベース)の国内旅行消費額(速報)**は 1 兆 1,375 億円となった(表 2)。前年同期比+8.5%と **5 四半期連続のプラス**だが、伸びは 2 四半期連続で 1 桁台にとどまっている(10-12 月期：同+6.5%)。

▶国内旅行消費額のうち、**1-3 月期の宿泊旅行消費額は 9,468 億円**であった。前年同期比+15.5%と **5 四半期連続のプラスとなり、10-12 月期(同+4.0%)から増加幅は拡大した**(図 11 及び表 2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府 3,208 億円(同+15.0%)、京都府 1,668 億円(同+2.6%)、兵庫県 1,462 億円(同+19.5%)、三重県 858 億円(同-4.4%)、和歌山県 676 億円(同+96.4%)、滋賀県 635 億円(同+140.2%)、徳島県 296 億円(同+494.8%)、奈良県 250 億円(同-35.1%)、鳥取県 237 億円(同+41.3%)、福井県 178 億円(同-60.0%)であった。

▶国内旅行消費額のうち、**1-3 月期の日帰り旅行消費額は 1,907 億円**であった。**前年同期比-16.7%と 6 四半期ぶりのマイナス**となった(10-12 月期：同+16.7%)(図 12 及び表 2)。府県別に消費額を降順にみれば、大阪府 634 億円(同-4.7%)、兵庫県 475 億円(同-0.5%)、京都府 265 億円(同-31.8%)、三重県 175 億円(同-23.0%)、滋賀県 90 億円(同-46.9%)、福井県 81 億円(同-56.6%)、奈良県 60 億円(同-12.5%)、徳島県 55 億円(同-19.6%)、和歌山県 49 億円(同+73.0%)、鳥取県 23 億円(同+113.1%)であった。

*トピックス 3 は四半期ごとの掲載である。

図 11 関西 2 府 8 県 宿泊旅行消費額の推移

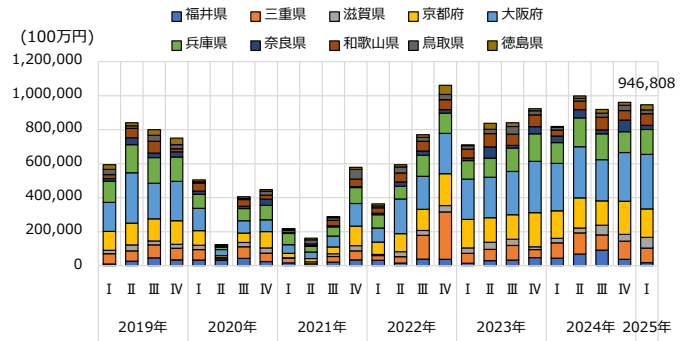
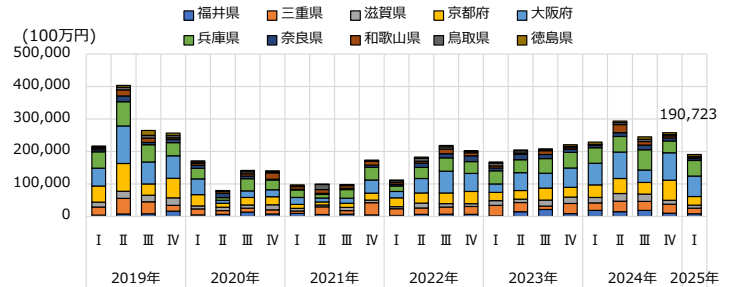


図 12 関西 2 府 8 県 日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む。

2024 年までは確報。25 年 1-3 月期は速報

(上図も同様)。

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表 2 関西 国内旅行消費額：2025 年 1-3 月期

	国内旅行消費額			宿泊旅行消費額			日帰り旅行消費額		
	金額： 100万円	前年比伸び率： 1-3月期(%)	前年比伸び率： 10-12月期(%)	金額： 100万円	前年比伸び率： 1-3月期(%)	前年比伸び率： 10-12月期(%)	金額： 100万円	前年比伸び率： 1-3月期(%)	前年比伸び率： 10-12月期(%)
福井県	25,919	-59.0	-16.0	17,828	-60.0	-20.8	8,090	-56.6	9.5
三重県	103,273	-8.2	71.3	85,755	-4.4	123.7	17,518	-23.0	-9.7
滋賀県	72,448	67.1	44.6	63,455	140.2	142.9	8,993	-46.9	-37.8
京都府	193,291	-4.0	11.5	166,811	2.6	-2.5	26,480	-31.8	103.7
大阪府	384,183	11.2	2.4	320,765	15.0	-5.2	63,418	-4.7	40.9
兵庫県	193,723	13.9	-24.2	146,237	19.5	-24.5	47,486	-0.5	-23.5
奈良県	31,044	-31.7	49.1	25,024	-35.1	63.6	6,020	-12.5	-10.7
和歌山県	72,522	94.6	-15.8	67,642	96.4	-19.4	4,879	73.0	40.4
鳥取県	26,026	45.7	24.6	23,708	41.3	28.3	2,319	113.1	2.7
徳島県	35,104	196.4	32.5	29,583	494.8	38.8	5,521	-19.6	15.9
関西2府8県	1,137,532	8.5	6.5	946,808	15.5	4.0	190,723	-16.7	16.7

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表 4 2025 年 4 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)
	4月	4月		1月～4月	1月～4月	
総数	3,043,003	3,908,900	28.5	11,601,486	14,446,600	24.5
総数(中国除く)	2,509,392	3,143,800	25	9,739,799	11,316,400	16
韓国	661,259	721,600	9.1	2,999,962	3,227,800	7.6
中国	533,611	765,100	43.4	1,861,687	3,130,200	68.1
台湾	459,723	537,600	16.9	1,938,702	2,161,300	11.5
香港	184,460	263,600	42.9	808,017	911,200	12.8
タイ	142,521	158,500	11.2	466,298	520,300	11.6
シンガポール	46,324	60,000	29.5	178,426	213,300	19.5
マレーシア	45,983	51,200	11.3	180,193	244,200	35.5
インドネシア	62,515	61,400	-1.8	179,496	232,300	29.4
フィリピン	68,499	91,000	32.8	269,313	302,200	12.2
ベトナム	61,607	64,100	4.0	233,865	252,400	7.9
インド	23,162	37,300	61.0	72,941	99,400	36.3
豪州	80,812	115,200	42.6	333,698	429,000	28.6
米国	228,900	327,500	43.1	799,549	1,044,400	30.6
カナダ	52,118	72,600	39.3	175,464	227,500	29.7
メキシコ	11,786	21,800	85.0	41,747	56,500	35.3
英国	48,407	69,500	43.6	150,543	185,400	23.2
フランス	51,619	57,100	10.6	123,016	136,600	11.0
ドイツ	36,029	57,200	58.8	108,846	136,700	25.6
イタリア	24,855	45,600	83.5	63,683	90,900	42.7
スペイン	11,722	24,200	106.4	39,611	59,200	49.5
ロシア	10,748	23,200	115.9	27,476	52,600	91.4
北欧地域	12,955	22,800	76.0	47,388	60,600	27.9
中東地域	23,157	28,400	22.6	47,143	75,200	59.5
その他	160,231	232,400	45.0	454,422	597,400	31.5

表 5 2025 年 2 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)
	2月	2月		2月	2月		2月	2月		2月	2月	
総数	2,788,224	3,258,491	16.9	2,548,085	2,965,065	16.4	83,836	94,042	12.2	156,303	199,384	27.6
韓国	818,562	847,358	3.5	792,173	821,185	3.7	14,797	14,499	-2.0	11,592	11,674	0.7
中国	459,463	722,924	57.3	392,159	635,194	62.0	17,107	22,685	32.6	50,197	65,045	29.6
台湾	502,237	507,346	1.0	489,092	492,815	0.8	6,577	7,288	10.8	6,568	7,243	10.3
香港	205,884	195,543	-5.0	202,534	191,689	-5.4	1,629	1,862	14.3	1,721	1,992	15.7
タイ	101,443	116,797	15.1	97,764	112,798	15.4	1,757	2,017	14.8	1,922	1,982	3.1
シンガポール	36,915	42,270	14.5	34,891	39,719	13.8	1,585	2,032	28.2	439	519	18.2
マレーシア	60,178	64,859	7.8	57,878	62,363	7.7	1,128	1,240	9.9	1,172	1,256	7.2
インドネシア	38,246	47,026	23.0	30,399	36,827	21.1	1,101	1,275	15.8	6,746	8,924	32.3
フィリピン	65,217	66,698	2.3	56,706	56,262	-0.8	4,419	5,235	18.5	4,092	5,201	27.1
ベトナム	60,181	73,813	22.7	12,974	7,585	-41.5	2,102	2,676	27.3	45,105	63,552	40.9
インド	9,965	12,955	30.0	4,244	6,350	49.6	3,004	3,593	19.6	2,717	3,012	10.9
豪州	66,501	88,767	33.5	64,289	86,301	34.2	1,588	1,775	11.8	624	691	10.7
米国	148,719	191,494	28.8	136,225	178,831	31.3	9,262	9,241	-0.2	3,232	3,422	5.9
カナダ	33,895	44,497	31.3	32,565	43,016	32.1	825	803	-2.7	505	678	34.3
メキシコ	7,684	10,784	40.3	7,356	10,492	42.6	178	143	-19.7	150	149	-0.7
英国	25,877	31,408	21.4	22,511	27,919	24.0	2,491	2,412	-3.2	875	1,077	23.1
フランス	22,268	26,518	19.1	19,449	23,793	22.3	1,723	1,615	-6.3	1,096	1,110	1.3
ドイツ	14,862	18,643	25.4	11,864	15,553	31.1	2,425	2,329	-4.0	573	761	32.8
イタリア	7,555	11,057	46.4	6,240	9,688	55.3	1,006	1,024	1.8	309	345	11.7
ロシア	2,907	5,668	95.0	2,209	4,793	117.0	416	540	29.8	282	335	18.8
スペイン	6,323	9,827	55.4	5,616	9,153	63.0	460	414	-10.0	247	260	5.3
中東地域	6,224	10,809	73.7	5,448	9,773	79.4	525	640	21.9	251	396	57.8
その他	87,118	111,430	27.9	63,499	82,966	30.7	7,731	8,704	12.6	15,888	19,760	24.4

注：目的別訪日外客数の定義については、図 3 注参照。

出所：日本政府観光局(JNTO)、2025 年 5 月 21 日付より筆者加工